学校だより
三年先の稽古
発行：校長　益子　朗

目指すべき生徒像
体　鍛える大信中生
徳　温ったか大信中生
知　学ぶ大信中生

学年毎に体験活動（6／25）

1年生：相馬大堀焼き

1年生は相馬大堀焼きの体験学習です。午前中は、まだ店などに並べる前の焼きたての魔除けの置物や、山田慎一様の歴史や特徴な講話を聞いたり、工房にて実際に作品作りを体験したりしました。

陶芸館よこね自分で挑戦、土に触れ合いながら作品を仕上げました。みんな真剣な表情でご指導いただき、楽しい体験ができました。

2年生：職場体験

2年生は職場体験。学校ではできない貴重な経験をさせていただきました。

信夫小、信夫二小、大信小、大屋小、白河育調園、白河消防署、白河調剤薬局、あゆみ保育園、大信幼稚園、ベストカッ、昭和堂書店、みどり書房、弁天荘・・・など多種多様な職場で、仕事の厳しさや楽しさをそれぞれ多種多様な仕事をしました。学ばせていただきました。

同じ授業を受けている同級生も、それぞれ違った学びをしてきた訳ですが、この日はそれぞれの経験を互いに語り合い、深めることができました。

3年生：福祉体験

3年生は「虹の郷」での福祉体験。3年生はもう近い将来の福祉関係の問題です。福祉にとって、福祉とは、お年寄りとかの高齢化社会、道に進むかの進路決定とかの重大な選択を今まさにしようとしている3年生は、お年寄りの実態を知ったり、関わり方を学んだり、接したりすることも大切です。

3年生は体験に重点を置いて、「高齢者を使った疑似体験」や「視覚や聴覚を遮る装置を使ったりしての体験」を学習しました。

おかげで年寄りの甲斐もあり、とても自然にと多くの優しい接し方ができていました。

「みんなが行きたくなる学校」へ
目指せ全員出席！

下のグラフは、4月からの欠席者数の推移です。

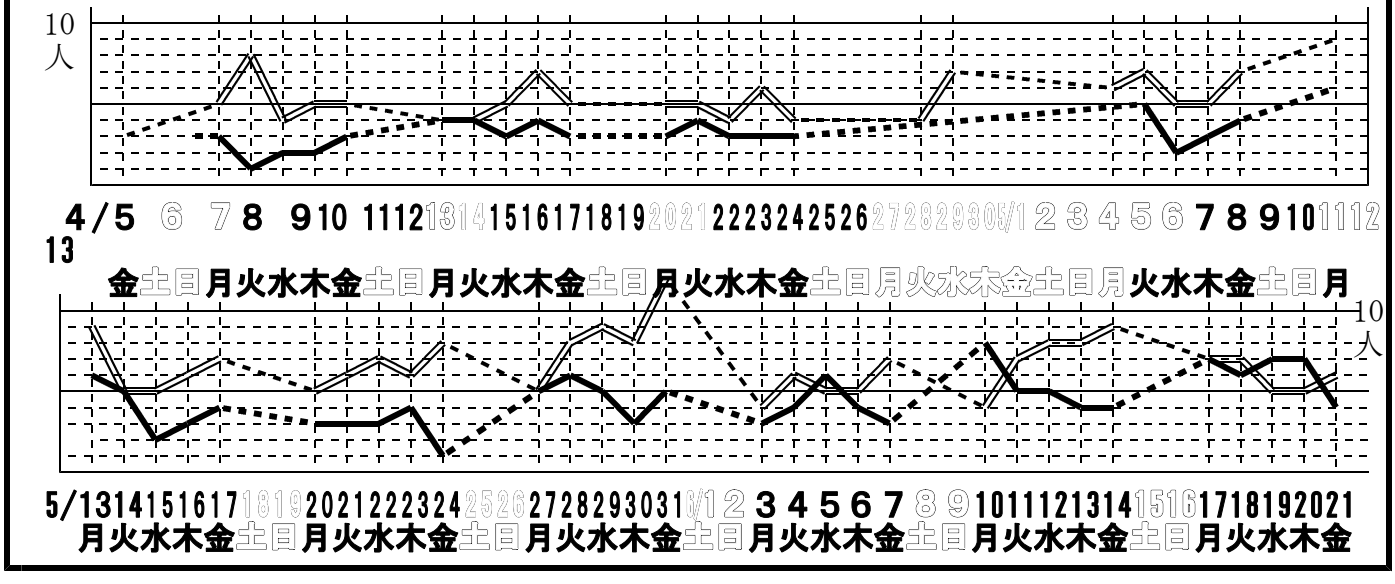
昨年度のものです。（曜日のずれは考慮してあります）ご覧の通り、今年度が昨年度を上回っています。

昨年度平均欠席者が1日4.0人に収まったのに対し、今年度は1日平均6.1人で、ほぼ毎日10人以上、多いときは15人を超えています。

欠席の原因は様々ですが、体調不良が誰にでも起こりうることは誰にでも得意不得意があるように、欠席することも誰にでも起こりうることです。

大切なことは、前向きに登校できるかどうかです。

信中学校がめざしているのは、「みんなが行きたくなる学校」です。

昨年度からずっと目指してきた「全員出席」。

今年度も、何とか「1」という思いを、全員の協力が必要です。